

自 2024 年 4 月 1 日
至 2025 年 3 月 31 日

2024 年度
第 46 期
事業報告書

2024 年度事業報告

事業の状況

2024 年 4 月 1 日より 2025 年 3 月 31 日までに行った当財団第 46 期事業は、次の通りです。

1. 褒章事業「第 46 回松尾芸能賞」

2024 年 12 月より 2025 年 2 月にわたり、文化庁文化財第一課芸能部門のご指導のもと 10 名の選考委員による協議、検討を重ねた結果、各種部門候補者 40 名のうち候補者は 8 名に絞られた。その後、更にこれを最終検討のうえ理事会にて承認され、以下のとおり第 46 回松尾芸能賞受賞者を決定し 2025 年 2 月 12 日に公式発表を行った。

1) 第 46 回松尾芸能賞受賞者

賞種別	部門	名前
大 賞	演劇	松平健
優秀賞	歌謡	天童よしみ
優秀賞	邦楽	川瀬露秋
優秀賞	演劇	中村獅童
優秀賞	舞踊	尾上紫
新人賞	演劇	林佑樹
特別賞	邦楽	堅田喜三代
功労賞	演劇	大村崑
合 計		8 名

2) 第 46 回松尾芸能賞贈呈式ならびに祝賀会の実施

贈呈式および祝賀会を以下のとおり実施した。また本賞を広く紹介するため、後日贈呈式のダイジェスト映像を動画共有サイトにて無期限で無料公開した。

式 典 名： 第 46 回松尾芸能賞贈呈式

日 時： 2025 年 3 月 31 日（月）

贈呈式 午後 5 時より午後 6 時 30 分

祝賀会 午後 6 時 30 分より 20 時

場 所： 帝国ホテル東京 富士の間 東京都千代田区内幸町 1-1-1

出 席 者： 受賞者、文化庁、財団役員（理事・選考委員・監事・評議員）、推薦人、招待者、および受賞者のスタッフ関係者を含む約 180 名

2. 自主公演事業「伝統芸能をつなぐ」

2022 年より始めた「伝統芸能をつなぐ」シリーズの第 3 弾として「能」を取り上げ、「第 3 回伝統芸能をつなぐ ～能を感じる～」を実施した。「能」の歴史は古く「世界遺産」でもあるが、「難しい」「寝てしまう」と揶揄されることもしばしばある。総合芸術「能」は、知識を頭に詰め込み目で見える鑑賞方法だけではなく、五感でリラックスして音を聞きながら贅沢な時間を過ごす側面もあることを伝えたく企画した。「初心者向け」に意識しすぎ深みに欠けた公演にならぬよう、演目は大曲「道成寺」のシテを宝生流第二十代宗家宝生和英氏に勤めてもらうことで、初心者にとっても「能」を知る上級者にとっても充実した内容にした。また、鑑賞料を一般的な能公演と比べて手に届きやすくすることで、仲間を誘いあい鑑賞し易い価格設定にした。

公 演 名： 第 3 回伝統芸能をつなぐ ～ 能を感じる ～
日 時： 2024 年 11 月 9 日（土）午後 2 時 開演
場 所： 宝生能楽堂 東京都文京区本郷 1-5-9
出 演： 宝生流第二十代宗家 宝生和英
宝生流能楽師 田崎甫 宝生流能楽師 和久莊太郎 ほか
演 目： 「乱」「道成寺」「お話 能を感じる」
鑑 賞 料： 指定 A 席 8,000 円 指定 B 席 6,000 円 自由席 5,000 円（税込）
来 場 者 数： 353 名
協 賛： みずほ証券株式会社 野村証券株式会社 SMBC 日興証券株式会社
岡三証券株式会社 ニュース証券株式会社

3. 育成事業「松尾塾伝統芸能」

2024 年 8 月から 9 月にかけて、小学 1 年生から中学 3 年生を対象に第 9 期生を募集した。1 名の応募者から書類選考および面接を経て 1 名を合格とし、9 月に 1 名が入塾した。現在は、小学 3 年生から高校 3 年生の 13 名が在塾している。

1) 2024 年 4 月から 2025 年 3 月まで、習熟度別によるグループ稽古を実施した。

日 時： 基本、毎週日曜日 午前 10 時より午後 2 時 30 分（途中休憩あり）
場 所： 松尾塾伝統芸能 東日本橋稽古場
回 数： 45 回
内 容： 狂 言 小舞・謡・狂言
日本舞踊 女舞・男舞
長唄 唄・三味線
囃子 小鼓・大鼓・太鼓

2) 稽古の成果を発表する場として公演を実施した。

公 演 名： 第 8 回松尾塾伝統芸能 ～子供が挑む伝統芸能～

日時・場所： 狂言・小舞

2024 年 7 月 7 日（日） 午後 2 時 開演

セルリアンタワー能楽堂 東京都渋谷区桜丘町 26-1 地下 2 階

日本舞踊・長唄 囃子

2024 年 8 月 3 日（土） 午後 2 時 開演

台東区立浅草公会堂 東京都台東区浅草 1-38-6

演 目： 狂言 「盆山」「苞山伏」「歌争」「清水」
小舞 「街道下り」
日本舞踊 「雛鶴三番叟」「吉原雀」「正札附根元草摺」
長唄 囃子 「末広狩」「元禄花見踊」「鞍馬山」「今様望月」

監 修： 狂言・小舞 野村万作
囃子 田中長十郎

指 導： 狂言・小舞・謡 中村修一 内藤連
日本舞踊 花柳輔太朗 花柳輔瑞佳 花柳美輝風
邦楽演奏 長唄 岡安祐三朗 東音山内美穂 東音布施田千郁
邦楽演奏 鳴物 藤舎千穂 藤舎朱音 藤舎清穂

出 演： 松尾塾伝統芸能在塾生

鑑 賞 料： 全席自由 1,000 円（税込） ※ 無料対象となる条件あり

来場者数： 狂言・小舞 175 名
日本舞踊・長唄 囃子 532 名

4. 助成事業

日本伝統芸能の振興、継承を目指す個人・団体が、更なる発展と基礎基盤を強化する為、選考委員による審議、検討を経て以下のとおり助成金を交付した。

2024 年度 助成金交付先

活動期間：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

	活動名称	分野
団体	第 43 回 長唄杵屋会 演奏会	伝統芸能活動分野
団体	第 4 回若者達の舞踊会「古都歳時記」「四季に舞う」	伝統芸能活動分野
個人	芸道四十五年記念公演 第三回照喜名朝國独演会	伝統芸能活動分野
団体	木滝あんば囃子保存会	日本各地、地域の芸能振興分野
団体	浪曲雄鷹座特別公演 玉川奈々福独演会	日本各地、地域の芸能振興分野
合 計 4 団体 1 個人		

5. 国際交流

日本に駐在するアジア諸国の大使とその婦人が集う一般社団法人アジア婦人友好会の新年会にゲスト出演し、日本の伝統芸能である日本舞踊を紹介した。

催 し： アジア婦人友好会 2025 年新年会
主 催： 一般社団法人アジア婦人友好会
日 時： 2025 年 2 月 10 日（月）午後 1 時
場 所： 明治記念館 東京都港区元赤坂 2-2-23
内 容： 日本舞踊「猩々」
演出 花柳輔太郎
舞 花柳輔瑞佳
長唄 杵屋勝真規 ほか
囃子 堅田喜代実 ほか
来場者数： 250 名